

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 2 月 16 日 (2012.2.16)

【公表番号】特表 2011-508119 (P2011-508119A)

【公表日】平成 23 年 3 月 10 日 (2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報 2011-010

【出願番号】特願 2010-539927 (P2010-539927)

【国際特許分類】

E 0 4 B 1/86 (2006.01)

E 0 4 B 1/82 (2006.01)

E 0 4 B 1/84 (2006.01)

E 0 4 B 9/04 (2006.01)

【F I】

E 0 4 B 1/86 A

E 0 4 B 1/82 M

E 0 4 B 1/84 A

E 0 4 B 5/54 C

E 0 4 B 5/54 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 21 日 (2011.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

図 3 で分かるように、曲線 1 および 2 で表される実施例 1 および実施例 2 の吸音材は、400Hz～1200Hz の周波数領域で、曲線 C で表される比較例と比較した場合、連続的に改善された吸音を提供する。

次に、本発明の好ましい態様を示す。

1 2つの主表面を有する吸音材料のコア、および

前記コアの少なくとも1つの主表面を被覆する表面材であって、凝集表面を有し、坪量 140g/m²以下であり、孔径約100nm～20,000nm、平均孔径20,000nm未満の複数の細孔を含み、光の反射率が86%より大きいフラッシュ紡糸プレキシフィラメント状フィルム-フィブリルシートを含む表面材、を含む、天井タイル。

2 1200Hz未満の周波数での前記天井タイルの吸音が、前記表面材のない天井タイルの吸音より少なくとも5%高い、上記1に記載の天井タイル。

3 前記フラッシュ紡糸シート of 層間剥奪強度が、少なくとも0.028N/mである、上記1に記載の天井タイル。

4 前記表面材が穿孔されている、上記1に記載の天井タイル。

5 前記フラッシュ紡糸プレキシフィラメント状フィルム-フィブリルシートが、ポリマーの屈折率より大きい屈折率を有する粒子状充填材を含む、上記1に記載の天井タイル。

6 前記吸音材料のコアの騒音低減率が0.3～0.9であり、前記天井タイルの騒音低減率が、前記コアの騒音低減率とほぼ同等である、上記1に記載の天井タイル。

7 前記表面材の Parker 表面平滑性が6マイクロメートル以上である、上記1に記載の天井タイル。

8 前記表面材の引張強度が少なくとも20N/2.54cmである、上記1に記載の天

井タイル。

9 前記表面材にグラフィック画像が印刷されている、上記 1 に記載の天井タイル。

10 前記表面材が、微生物の増殖を促進する栄養を含まない、上記 1 に記載の天井タイル。

11 前記表面材の対数減少値が少なくとも 2 である、上記 1 に記載の天井タイル。

12 前記表面材が、ポリエチレンおよびポリプロピレンからなる群から選択されるポリマーを含む、上記 1 に記載の天井タイル。

13 (a) 孔径 100 nm ~ 約 20,000 nm、平均孔径 20,000 nm 未満の複数の細孔を有し、光の反射率が 86% より大きいフラッシュ紡糸シート
の表面材によって被覆された吸音材料のコアを含む天井タイルを提供する工程と、

(b) 前記天井タイルによって周囲音が吸収され、光が反射されるように環境内に天井タイルを配置する工程と、

を含む、環境内での吸音および光の反射率を改善する方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 つの主表面を有する吸音材料のコア、および

前記コアの少なくとも 1 つの主表面を被覆する表面材であって、凝集表面を有し、坪量 140 g / m² 以下であり、孔径約 100 nm ~ 20,000 nm、平均孔径 20,000 nm 未満の複数の細孔を含み、光の反射率が 86% より大きいフラッシュ紡糸プレキシフィラメント状フィルム - フィブリルシートを含む表面材、
を含む、天井タイル。

【請求項 2】

(a) 孔径 100 nm ~ 約 20,000 nm、平均孔径 20,000 nm 未満の複数の細孔を有し、光の反射率が 86% より大きいフラッシュ紡糸シートの表面材によって被覆された吸音材料のコアを含む天井タイルを提供する工程と、

(b) 前記天井タイルによって周囲音が吸収され、光が反射されるように環境内に天井タイルを配置する工程と、

を含む、環境内での吸音および光の反射率を改善する方法。